

No.9 別紙

1 活動名 講座 性暴力：その後を生きる 受講

2 研修の目的

(1) 本市における課題

性被害にあわれた方の相談窓口がない。

(2) 研修の必要性

「魂の殺人」とも呼ばれる、性暴力。性被害にあわれた方の相談、救済は高い専門性が必要である。トラウマを抱えながら生きていかなければならない被害者をどう支えていくのか、考えたい。

(3) 研修項目 研修内容と同じ

3 研修内容

(1) 日時 令和3年11月13日（土）

(2) 会場 オンライン

(3) 出席者 1名 神津ゆかり

(4) 内容

市川房枝記念会女性と政治センター主催 進めたい「いま」弾力のある社会へ～2021連続講座のうちの1講座。講演「性暴力～その後を生きる」では、NPOレジリエンス代表 中島幸子氏を講師に、すべての性暴力の被害者が適切な支援を得られ、二次被害を受けることなくよい支援やサポートを増やしていく必要性について。

(5) 成果・所感等

性暴力は被害者だけでなく、周囲の人々にもトラウマや悪影響をもたらす。なるべく早い段階で、支援やサポートの手を入れなければならない。どこか遠い場所で起きていることという認識ではなく、今ここで起きていることという認識にたって、相談、救済、サポートなどにつなげていかなければならない。また被害、加害を防ぐ、予防的啓発活動も必要である。

4 政務活動費

(1) 使途項目 研究研修費

(2) 参加費 1100円